

< 9 > < 第三種郵便物認可 > 2024年(令和6年)3月19日(日)発行 夕刊フジ

株-1グランプリ

毎月5人のプロたちが3銘柄を厳選

【競技ルール】1人3銘柄を選択。時価総額が100億円以上の銘柄のみ。今月は第1月隔日の始値から計測開始。以降、3月29日までのサラ場を含む高値の3銘柄合計のパフォーマンスを競う。ただし、当初の3銘柄については、1度だけ変更が可能。その際、除外した銘柄のそれまでのパフォーマンスはカウントされない。優勝賞金は3万円。

を競う。ただし、当初の3銘柄については、1度だけ変更が可能。その際、除外した銘柄のそれまでのパフォーマンスはカウントされない。優勝賞金は3万円。

上昇ピッチが速かった日本株に調整局面が訪れた。ただ、急落局面では、出遅れ投資家の押し目買いもあり、値を戻す場面も見られる。先週は、そんな急落のリバウンドを捉えた岡山憲史氏がトップに躍り出た。3月の「株-1グランプリ(GP)」もいよいよ後半戦に突入する。(月曜掲載)

株プロと読者 賞金3万円 獲得するのは誰だ

チャレンジャー募集

希望者は、はがきに住所、氏名、年齢、電話番号、株式投資歴を明記の上、〒100-8160(住所不要)夕刊フジ報道部「株-1GP」係まで。

【岡山憲史氏の推奨銘柄】

銘柄名	コード	始値(3月4日)	高値(3月14日まで)	騰落率
VRAIN Solution	135A	6060円	7440円	22.8%
フォーサイド	2330	435円	505円	16.1%
Laboro, AI	5586	1763円(11日)	2590円	46.9%

※Laboro, AIの反発を捉えトップ浮上

Laboro, AIの反発狙いが成功

上場来高値から大きく売られたが、組み替えたタイミングが良く、その後の反発に乗ることができた。上場来高値の更新は時間の問題だろう。VRAIN Solutionも急落後の戻りが速く、7440円の上場来高値を目指す展開。フォーサイドは日々の出来高が衰えておらず、上値余地は十分だ。

日経平均は7日に4万472円の史上最高値を付けた後、12日には3万8271円まで急落。米半導体大手のエヌビディアの急落がきっかけだ。同時に日本のAI関連も大幅下落となった。だが、12日のエヌビディアの急反発を機に再びAI関連に資金が流入している。

第1位

マーケットバンク

岡山憲史氏

85.8%

おかやま・けんじ マーケットバンク代表。プロの運用担当者をはじめとする1万人超が参加した日本初の資産運用コンテスト「S1グランプリ」優勝。

【長谷川伸一氏の推奨銘柄】

銘柄名	コード	始値(3月4日)	高値(3月14日まで)	騰落率
VRAIN Solution	135A	6060円	7440円	22.8%
フォーサイド	2330	435円	505円	16.1%
QPS研究所	5595	3995円	4440円	11.1%

※トップ奪回はQPS研究所次第か

宇宙関連のQPS研究所に期待

QPS研究所は25日移動平均線を下げ止めてきた。生成AIの次のテーマで宇宙が浮上し、高値更新局面に期待したい。VRAIN Solutionも成長性の高さでいずれ高値を更新する展開に期待している。フォーサイドは大陰線で相場つきは良くないようで見えるが、出来高が少なく売り気配で下げた経緯があるだけに、おもしろい展開になる予感がする。

日経平均は4万円を超えた後、さすがにスピード調整も約3分の1押しで切り返し、再度高値を狙う展開が予想される。まずは、いったん調整した米国のエヌビディアが切り返すかどうかのポイントとなりそうだ。

第2位

アセットマネジメントあまのり

長谷川伸一氏

50.0%

はせがわ・しんいち 経済アナリストの明彦の右腕。セミナー、雑誌への寄稿など幅広く活躍。著書に「投資でお金を増やす術」など。

【古賀真人氏の推奨銘柄】

銘柄名	コード	始値(3月4日)	高値(3月14日まで)	騰落率
VRAIN Solution	135A	6060円	7440円	22.8%
サーバーワークス	4434	3960円	4590円	15.9%
三社電機製作所	6882	1830円(11日)	1857円	1.5%

※三社電機製作所の反発に期待

三社電機製作所、巻き返しへ

VRAIN Solutionは、乱高下を繰り返しており、先週は下値に振れてしまった。アマゾン関連銘柄であるサーバーワークスも、元気がなく下振れている。新たに投入した、半導体の三社電機製作所は、グロス銘柄が調整中でも踏みとどまったイメージがある。ただ、足元ではグロス銘柄には元気がなく、バリューストックが起ったと考えられる。

先週は相場全体に大きな調整がきた。理由は米国雇用統計の大幅下方修正とされている。これが米国景気に対する警戒感となって株価指標は一気に元気をなくし、それが日本株市場にも波及した形となった。

第3位

経済アナリスト

古賀真人氏

40.2%

こがまこと 国内外資金融機関を経て独立。ライフサポート代表。note、YouTubeなどで情報を発信している。全方のフルボイスの攻撃的スタイル。月間優勝の実績も。

【明石圭氏の推奨銘柄】

銘柄名	コード	始値(3月4日)	高値(3月14日まで)	騰落率
QPS研究所	5595	3995円	4440円	11.1%
海帆	3133	1245円	1375円	10.4%
マネーフォワード	3994	6930円	6947円	0.2%

※マネーフォワードの上昇が欲しいところ

下げ相場でもしっかりの海帆

QPS研究所も、25日移動平均線でもしっかりと下げ止まり、反発の動きを見せている。今週の値動きに期待したい。一方、ここまで値動きが芳しくないマネーフォワードだが、この銘柄も間もなく25日移動平均線までの調整を終えそうだ。この辺りで踏みとどまることができれば、再び昨年 come高値を目指す展開になるのではないかと。

先週の全体相場急落の中でも注目の3銘柄は底堅く推移し、チャートはまだ崩れていない。特に海帆は、下値ではしっかりと押し目買いが入り、再び株価が5日移動平均線を上回ってきた。2月8日の1406円を巻き戻してからは、上昇に弾みがつきそうだ。

第4位

投資ライター

明石圭氏

21.7%

あかし・けい ネット系の金融情報サイトなどに記事を書いている投資ライター。自らも株式投資を行っている。過去には、月間優勝の実績も。

【丸山昭利氏の推奨銘柄】

銘柄名	コード	始値(3月4日)	高値(3月14日まで)	騰落率
日本たばこ産業	2914	3878円	3890円	0.3%
ソフトバンク	9434	1969円	1992円	1.2%
ユナイテッド	2497	911円	925円	1.5%
さくらインターネット	3778	-	-	-
ソシオネクスト	6526	-	-	-
野村マイクロサイエンス	6254	-	-	-

※すべての銘柄をチェンジし、大逆転へ

半導体関連の急落でチャンス到来

先週にストップ安を連発した、さくらインターネット。政府のガバメントクラウド提供事業者に選定されるなど、国策銘柄としての側面もある。これに、半導体企業のソシオネクストと、半導体向けの超純水装置を手がける野村マイクロサイエンスを加えて、残り2週間での大逆転を狙う。

自分の投資スタイルで選んだ3銘柄だが、大きな下落はないものの、パフォーマンスが伸びていない。そんなところに先週はITや半導体関連が大きく値を戻した。チャンス到来だ。今週は、3銘柄すべてをITや半導体関連に差し替え、大きなリバウンドを狙っていきたい。

第5位

マネー編集者

丸山昭利氏

3.0%

まるやま・あきとし 株式投資歴17年のベテラン投資家。2021年の一株1GPでは、月間優勝でグランチャン大会に進出。優勝は鉄道とクルマ。